



1学期の振り返りと夏休みの計画を

早いもので、1学期の終業式まで残すところ3週間となりました。それぞれの学年で1学期のまとめの時期となり、各学級でも振り返りを行い2学期のステップアップにつながるよう指導していきたいと思えます。ご家庭におかれましても「あゆみ」を参考にされ、お子様がよりよく伸びる話題と励ましの材料としていただければと思えます。

いよいよ20日からは子どもたちにとって楽しい夏休みが始まります。39日間の夏休みは、1学期の学習や生活を見つめ直し、2学期に備え志を新たに準備する絶好の機会です。

さて、江戸時代の儒学者である新井白石のエピソード「一粒の米」があります。有名な話ですからご存知の方もいるかと思えます。新井白石は子どもの頃、勉強が好きでなく、朝から晩まで友達と遊びまわっていたそうです。それを見ていた父親が新井白石に話したのが下記の内容です。

米びつから、一粒の米を取っても、お米が減ったかどうか分からない。けれども、1年、2年、そして3年と毎日一粒ずつ取っていくと減ったことが分かる。反対に、米びつに一粒の米を加えても増えたかどうかは分からない。けれども、1年、2年、3年…と毎日一粒ずつ加えていくと、増えたことが分かる。

1日勉強したから利口になるわけでもない、1日怠けたから愚かになるわけではない。しかし、1年、2年と続ければ必ず変化が見えてくる。

期間は39日間ですが、夏休みの過ごし方も同様ではないでしょうか。得意な教科を伸ばす、苦手な教科を克服する、家の手伝いを決めて継続する、朝起きる時間を決めて規則正しい生活を続ける等…。何か続けられるものを見つけ、この夏休み中に続ければ必ず得るものがあります。継続できるものは、2学期が始まってからも続けられるとさらに素晴らしいと思えます。

子どもたちが何よりも楽しみにしている夏休みですが、この時期子どもに関わる海や山の事故、交通事故、熱中症により重篤な状態に陥る等、残念ながら毎年日本各地で発生しています。十分に気をつけていただければと思えます。夏休み中は、学校では水泳指導があります。美術館や博物館巡りや各種イベントなどに参加したり、ゆとりを持って過ごしたりとお子様にとって有意義な夏休みになればと思えます。これまでに身につけてきた規則正しい生活のリズムを大切に維持し、夏休みの経験が2学期からの学校生活をさらに充実させるきっかけや原動力になりますようお願いしております。



2校親善体育大会



学校公開



椿小フェスティバル